

## 遊休地活用の横断的研究組織発足

アセットブレインズ 地価下落に歯止めをかけるか？

仙台の商業地の基準地価の下落率は、平成九年度に比べ一〇・九％。宮城県が九月に発表した基準地価調査が発表された。土地の有効活用を狙っても、なかなか動かない要因がまた増えたわけだ。

このように土地や建物を保有しているながら、有効活用が見いだせない、オーナーもいるはず。

このほどこうした仙台圏域にある遊休不動産の事業化を不動産業者、銀行、弁護士などのプロフェッショナルを横断的なネットワークで結び、総合的に土地の有効活用を図ろうとする、組織「アセットブレインズ仙台ネットワーク」が発足した。



9月25日に行われた研修会には40人が参加した

この集団は、プランもコーディネートできる不動産業者、法務、税務、金融資産運用、マーケティングなどその道のプロが、個人参加し、土地に関する情報や相談内容を、この集団の中で発表。

次に各分野からのアドバイスを受け、オーナーに土地の

有効利用に的確なアドバイスと、プランを打ち出そうというもので、仙台でも珍しい組織だ。

## 定借付マンションも立案

さる九月二十五日には、第一回目の研修会が行われ、約四十人が参加した。今後毎月一回、二時間程度の研究会

を行っていく方針で、第三回目は十一月中旬を予定している。

なおアセットブレインズでは、情報交換の成果の第一弾として、定期借地権付のマンションの建設を立案中だ。

事務局は仙台市泉区上谷刈字新中谷地四ノ一、☎022(773)6685。

仙台経済界 '98 11-12月号